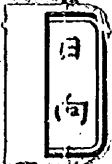


目次

- 一 計畫
 - 二 經過
 - 三 令達報告
 - 四 戰果及被害
 - 五 功績
 - 六 參考
- (一) 戰訓
- (二) 行動圖及合戰圖
- (三) 天氣圖

(目次終)



一 計画

(1) 任務企圖

敵機動部隊ヲ比島南西諸島東方海面ヨリ其ノ北方乃至北東方ニ索制誘出シテ我が遊撃部隊ノ敵上陸地奥ニ對スル突入作戰ノ必成ヲ期スルト共ニ好機ニ投ジ敵分力ヲ撃滅ス

(2) 作戰方針

- (一) 対空對潜警戒ヲ嚴ニシ南西諸島東方海面ヲ南下シ呂宋島乃至台灣東方海面ニテ有力ナル敵機動部隊ニ近迫ス之ヲ捕捉シ先ツ晝間航空戦ニテ有効ナル第一撃ヲ加ヘ大打撃ヲ與マルト共ニ自己ノ被害ヲ顧ミルコトナリ極力之ヲ北東方ニ誘出ス
- (二) 爾後敵機動部隊ヲ其ノ航空交戦巨離内外ニ維持スル如ク晝間近迫シ夜間敵ニ遠カカル如ク行動シツツ所期ノ海面ニ誘出ス
- (三) 敵機動部隊ト水上決戦ノ場合ニアリテハ全軍肉迫之ガ必殺ヲ期シ最悪ノ場合之ト擧刺シ敵ヲ撃滅ス
- (四) 敵補給部隊ノ動靜ヲ明ニスルヲ得且之ニ對スル奇襲ヲ

4440

（ハ）軍隊区分

（一）第一軍隊区分（特令ナケレバ第一軍隊区分トス）

攻撃ノ成算ナル場合ハ敵補給部隊ニ突入シテ攻撃ス

補給部隊	警戒隊		巡洋艦戦隊	主隊	部隊(隊番号)
	第三駆逐艦隊	第一駆逐艦隊	35f	35f	
首席艦長	P		多摩艦長	指揮官	P
	61dg	31S	45f		
224333海防艦 秋風丸	41dg (箱月)	61dg (初月 秋桐若月)	大湊 桑 榎桐 杉	35f 瑞鶴 瑞鳳	兵力
	仁 榮丸	大 光丸	多摩 五十鈴	敵 KdB	主要任務
補給	機動		二 索制	航空戦	
	故言戒				

(二)

第二軍隊區分(主十三三三隊ニ分離機動ノ要ル場合ニ適用ス)

衛	前	隊		主	部隊(隊番号)
第三駆逐隊	4sf	第一駆逐隊	巡洋艦戰隊	3sf	
P 6ldg	P 4sf	P 31S	多摩艦長	P 1KdF	指揮官
4ldg 6ldg (箱月) (初月 初月 若月)	4sf (日向伊勢)	模大 桐 杉 桑	多摩五十鈴	3sf	兵力
		機動 索制		敵 KdF 機動	主 要 任 務
制誘出		敵 KdF 索		敵 KdF 機動	

(二) 出撃直前左記ヲ補充ス
 爆雷 一〇
 噴進砲彈 三九〇
 集雁鳥 コリ

衛		前		隊主		部隊(隊番号) 指揮官 真力 主要任務
第二駆逐隊	巡洋艦戦隊	4sf		第一駆逐隊	3sf	
P	多摩艦長	P		P	1Kaf	
61dg		4sf		31s		
41dg (霜月)	61dg (初月 秋月 若月)	多摩 五十鈴	4sf (日向 伊勢)	榎 桐 杉	大 坂 桑	3sf
		撃滅		敵		主要任務
		水上		航空戦		
決戦		水上		航空戦		

(三) 第三軍攻(區分(主)シテ水上決戦場合ニ適用ス)

二 經過

十月二十日

一〇三〇
一七四七

十月二十一日

一一〇六

一一一〇

十月二十日

〇五二四

一八三五

二〇一三

十月二十三日

〇五二七

〇六三一

八島泊地出港

沖島水道出撃

第一警戒航行序列ニ占位

一三〇度方向ニ雷跡發見

對潜戰鬥

(瑞鶴ニ三〇度方向ニ雷跡音ヲ探知)

(瑞鶴右舷ニ潜水艦ヲ發見)

對潜戰鬥

電探電波戰鬥管制トナス

右四十度ニ敵潜水艦發見

對潜戰鬥

(五十鈴八〇度方向ニ敵潜水艦發見)

對潜戰鬥

第四警戒航行序列ニ占位

一七二九
一八三〇

一七五五
一七五五

機動部隊指令作第ニ號

一第ニ軍隊区分上左

二前衛ハ南方區出好機ニ乗シ殘敵ヲ攻撃セズ

三一五〇頃敵機ヲレテ日没頃迄地兵ヲシニ夕附

近敵ニ接觸セシム

四本隊ニ六〇〇人越成功飛行機ヲ收容シタル後南

東ニ向ヒ翌朝戰ヲ續行ス

二十二節即時全カチ分待機

前衛ハ今夜地兵ハヨシハ附近ノ敵ヲ索メテ之ヲ

撃滅セズ不行動予是左ノ南

于四月一〇〇地兵ハソレニ四日後敵收ニ應ジ

機宜行動

十月六〇〇地兵ハ三〇五五

秋月三〇〇後方ニ敵機ヲ發見(誤認)

敵潜水艦及水上部隊對テ突差戰鬥中

前衛

敵潜水艦及水上部隊對テ突差戰鬥中

十月二十五日

0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
七	七	七	八	八	八	八	八	八	八
一	二	二	三	三	三	三	三	三	三
二	二	二	三	三	三	三	三	三	三
二	二	二	三	三	三	三	三	三	三
二	二	二	三	三	三	三	三	三	三
二	二	二	三	三	三	三	三	三	三
二	二	二	三	三	三	三	三	三	三
二	二	二	三	三	三	三	三	三	三
二	二	二	三	三	三	三	三	三	三

一九三〇
二二四一
二三一〇

備光成

二一八四ヨリ一六八三ヨリ五五五ヨリセハス

前方大遠巨砲ニ大爆發火焔ヲキモク憲ハ

針路三〇度

針路一〇度

令三三三明朝本隊ト合同スル如ク行動ス

本隊ト合同第一軍隊區分トナリ第四警戒航行

序列ニ照位 針路零度

一三〇度方向ニ敵機ヲ發見 距離二八料

全力即時待機完成

一八〇度方向ニ敵機ヲ發見

左一三〇度方向ニ敵大編隊ヲ探知

左一一〇度方向ニ敵大編隊ヲ發見(約一七機)

二一〇度方向ニ大編隊ヲ探知ス 距離九〇料

連力二四節

対空戦闘左一四五度ヨリ敵機來襲取脱回避

高角砲機銃射撃開始

發射彈數
(五月合計)

二三二
二三四
五

主砲 三式彈 一
一三七 握高角砲 三式 通常彈 六五九
二五 航通常彈 八九七
噴進砲 二五

七〇度 二發針 (敵情ヲ得ザルニ付)
〇度 二發針 速力 三二節

十月二十六日

〇六一〇

一〇〇〇

一三五〇

一七二五

一七三四

一七三五

一七三七

一九三〇

二〇二六

左一〇〇度ニ雷跡發見

對潛戰斗

艦首五〇米ヲ通過

二五節即時待機

最大戰速三十分開待機トス

一五〇度ニ潛望鏡發見

對潛戰斗

霜月甲度方向ニ潛望鏡發見

對潛戰斗

雷跡左一三五度ヲ二本艦、後方ヲ通過

伊勢一六〇度ニ潜水艦發見

大旋二八〇度ニ潜水艦發見

大旋右舷ニ潜水艦ヲ發見

對潛戰斗

艦尾ヲ魚雷一本通過、面舵回避

雷跡左一〇〇度、面舵回避

對潛戰斗

十月十九日

一五三五
一五五四
一八〇六

一四一五
一三一〇
一三一五

十月十八日

一五二〇
一一三〇
一一〇〇

十月十七日
一一〇〇
二〇三一

左一四五度八〇〇米ニ雷跡艦尾ニカラス

第一三海防艦八度方向ニ潜水艦ヲ探知
對潜戦中

薩川湾入港 大かゆ丸ヨリ補給(二十節十五分間待機) 霜月損傷箇所ニ應急修理 大かゆ丸給水ホシヲ應急修理

二十節十五分間待機トス 薩川湾出港

大島海峡東水道出撃 針路一〇五度 第一警戒航行序列ニ占位 速力二十節

左三十度ニ雷跡發見回避 三〇〇度ニ潜望鏡發見回避

針路四五度ニ変針 右九〇度ニ雷跡四本發見回避 對潜戦中

0620

一
二
三
四
五
六

魚雷音左九十度ニ探知
沖島水道ニ入ル
吳着

<p>P 10-17</p>	<p>KdMB 10-17</p>	<p>GF 参謀 10-17</p>
<p>司令部 P GF 1KdF 1950 10-17</p>	<p>GF P 2AF 1AF 3AF GF P GF P 1KdF 2F 1544 10-17</p>	<p>P P 5F 2F 2AF KdMB 1216 10-17</p>
<p>各艦航空燃料煤庫全部却済 第七号ノ如ク行動ス 明八日(五三)若國沖發機動部隊存隊電令作 当隊(六三四隊友)空襲準備完成 砂機密第一七三三〇番電</p>	<p>三術系ノ隊艦現任務ヲ履行ス 發艦可能兵力ニ別一定ル所ヨリ之ヲ收容ス 速ニ少數ヲ準備シ完成スル高鋪地ニ集合ス 1KdF(344)3/5(一部友)大波(原)2/2(本月)六 機密第一七三五〇番電 電令作隊番号</p>	<p>GF機密第一七三三〇番電 今朝敵機ノ侵入ニ對シ島上陸開始セリ敵本路の西南 飛上陸ヲ算ル此場合1/10ノ突入ニ策定ス敵機比 方ヲ牽制スル為メ1/10ノ斷ルニ付全力ノ別機隊 戰可能飛行隊搭載 少撃準備進置ス度</p>
<p>for</p>	<p>for</p>	<p>for</p>

GF 10-18	P 4.5f 1.838 10-18	KdMB 10-14	
各PP GF 各鎮各警 GF GF GF 1802 10-18	4.5f (-3) 1.838 10-18	瑞鶴 瑞鳳 十 七 鹿 見 島 留	P 1.5f P 4.5f 2.130 10-17
GF 機密第一八七三番電 GF 電令作第百六〇号 捷一号作戦發動	信令第一〇四号 日向 伊勢 大井 隼鷹 龍鳳 噴進砲 澤樂 三九〇 發及生糧品三週間分ヲ移載 スベシ	二收容期日 二十日午前詳細後命 三、5f 可動全機八式艦攻二台(八式裝完備) 七(艦攻(爆裝支)十台中天分座基地ニ転進スベシ)	KdMB 機密第一七二四番電 KdMB 電令作第百三二号 1.5f 5.5f 1. 收容三(因) 左通分定 一塔載五分 全機瑞鶴 5.5f 瑞鶴 瑞鳳 十歳分載
100	信	100	

<p>参謀長 / KdF 10-18</p>	<p>KdMB 10-18</p>	<p>P KdB 10-18</p>
<p>高根大 (水曾) P 3/8 11.50 10-19</p>	<p>海防 11.50 海防 09.08 海防 10-18 秋風 德山港 部長 仁藤 佐鎮 P 吳鎮 P 大 KdMB P GF</p>	<p>KdMB 2346 10-18</p>
<p>KdMB 機密一八〇九五六番電 十九日三三〇。(八島鎬地)大渡ニ於テ作戰打令セ行ル 各関係指揮官艦長及海防艦長(英方面在 艦ニシテ参考集カレ度 但シ飛行機收容ニ関係アルモ、ハナシアル限リ代理 ヲ派遣スルコトス</p>	<p>KdMB 機密一八三三一番電 KdMB 電令作第六一号 一 海根大ニ海防艦仁藤大ニ海防艦四三海防艦秋風 ヲ以テ補給部隊ヲ編成シ其ノ首席指揮官ヲ補給 部隊指揮官トス 二 補給部隊ハ速ニ德山ニ向航成ル可ク三月中春美 大島ニ進發待機スル行動ヲ要シ報告スベシ 三 二水戰司令官ハ幕僚一名ヲ十九日大分洋司司令部 ニ連絡シ上德山ニ派遣シ補給部隊ノ戰務援助スベシ</p>	<p>KdMB 機密第六〇〇番電 KdB 電令作第六一号 捷一号作戦 發動</p>
<p>ee</p>	<p>ee</p>	<p>ee</p>

9640

Handwritten notes:
not transmitted
before
transmitted
omit

<p>GF 長官 10-22</p>	<p>P KdMB 1605 10-21</p>	<p>大 臣 總 長 10-20</p>
<p>海 各 GF 護 鎮 CSF 總 各 警 長 警 B 10-22</p>	<p>日 向 初 霜 1605 10-21</p>	<p>GF GF GF GF P GF 9EB GF 10-21</p>
<p>GF 機密第二ニニニ五番艦 捷号作戦勢頭ニ於テ御後威下緒戦有利ニ展開 畏クモ優渥ナル勅語ヲ賜ハタルハ本職恐懼感殺 ニ堪ハル所ナリ今ヤ捷号作戦ヲ神機目捷道ニ奉職ハ 陸軍ノ緊密ニ協同指揮下全兵力ヲ擧テ之ニ臨ミ トス全將兵茲ニ死行ヲ遂セタルノ覺悟ヲ新</p>	<p>親展(電報劇聯) Xサキヨ 二十日 航空戦ノ状況ニ依ッテ 敵d/g 1/8ノ突撃 ニ呼應シサトル高東方海面ニ急行殘敵掃蕩位 シラル予定研究ニ置ク度(GH機密ニ西ニ番艦</p>	<p>官房機密第二ニニニ五番艦 敵ノ反攻日ニ熾烈ノ度ヲ加ニ戦局愈重天折柄聯合艦 隊が台湾及菲島東方海域ニ敵主力艦隊捕獲ノ 大部ヲ東滅スルハ誠感激ニ堪ハズ 茲ニ衷心ヨリ祝意ヲ表シ併テ長官以下全艦隊將兵 御勇戦ヲ祈ル</p>
<p>1/28</p>	<p>信</p>	<p>1/28</p>

4640

7

7

omit

KdMB 10-24	前敵 10-24	KdMB 10-24	KdB 指揮官 10-22	
全石 1025 10-24	全石 1021 10-24	KdMB 1016 10-24	高鹿小 雄屋林 各PP GF 1635 10-22	
地英 附近戦機 機中高度500 0150	戦機 追躰	敵 輸送船 他艦 不明 地英	KdMB 機密第 行動 21日 22日 23日 24日 黎明時	殊死奮戦 皇國 神靈 加護 信 敵
ref	ref	ref	ref	ref

mut

7

7

	KdMB	KdMB	KdMB	KdMB	KdMB
	10-24	10-24	10-24	10-24	10-24
(大海) 高警	KdMB 各PT GF 1553 10-24	全右 1231 10-24	全右 1223 10-24	全右 1105 10-24	全右 1030 10-24
四本隊二六。頃迄西行。敵各機後南東向。翌朝戦終行。	敵機偵察機二四三六番機。KdMB偵察機係第二号。第一軍隊区分トナセ。	敵附近。天候晴。敵機偵察機。天候良候。予リ。一二三。	地矣又三子敵ハ小型機ヲ伴リ進行方向南ニテ。	我追躡リ度々。吾以降触接ヲ失ス。	敵戦機見テ又ハ三六東高度一〇〇〇一〇二五。
for	for	for	for	for	

<p>P 4st 10-24</p>	<p>P 4S (4188) 2310 10-24</p>	<p>P 1KdF 10-24</p>	<p>G.F 10-24</p>	<p>P 4st 10-24</p>
<p>P 1KdF 2350 10-24</p>	<p>前</p>	<p>P 4SF 2213 10-24</p>	<p>捷号作戦部隊 1855 10-24</p>	<p>捷号作戦部隊 大海参部隊 KdMB P GF 1745 10-24</p>
<p>24日機密第百三十三番艦 令依り前ハ左ノ通り行動ス 二十四日 二三〇〇 地英ヘワヒ 二十五日 〇六〇〇 地英ヘワヒ</p>	<p>命依り明朝本隊ト合同スル如ク 行動ス</p>	<p>1KdF機密第百二十七番艦 前ハ速カニ北オニ避退セヨ</p>	<p>GF機密第百八十三番艦 GF機密第百三十三号 天右ヲ確信シ全庫突撃セヨ</p>	<p>KdMB機密第百二十五番艦 本隊前衛(日向)伊勢 初日 暮月 秋月 霜月 今夜亦依り行動スル島東方海面ニ残敵ヲ悉く滅ビ 二十四日 一六〇〇 地英ヘワヒ 先敵情ニ應ジ機直行 二十五日 〇六〇〇 地英ヘワヒ 動ニ違ス</p>
<p>see</p>	<p>see</p>	<p>see</p>	<p>see</p>	<p>see</p>

0080

mit

mit

mit

7

mit

KdMB 10-25	KdMB 10-25	KdMB 10-25	KdMB 10-25	KdMB 10-24
<p>(大向海) P GF 1319 10-25</p>	<p>KdMB 1159 10-25</p>	<p>各PP GF 0748 10-25</p>	<p>KdMB 0705 10-25</p>	<p>(P) GKF 大海 0100 10-25</p>
<p>KdMB機密第五二二三番電 KdMB機斗速報 〇六三ヨリ〇〇〇迄敵機約百機、來襲ヲ受ク 戦果報告機 被虐秋月沈没ノ多摩落伍其、他被虐アルモ 概テ六八部飛行可能、瑞鷗通信不能</p>	<p>KdMB機密第五二二三番電 六群、三三〇度方向ニ退退セリ</p>	<p>KdMB機密第五二二三番電 KdMB敵艦上機ノ接触ヲ受ケリ、地点ハ示ル、七二三</p>	<p>見上艦上機ニ機、地莫ソ夕四夕 進行方向北東高度一〇〇〇米、〇六五〇</p>	<p>KdMB機密第五二二三番電 KdMB電令作第四五号 一本隊ニ五〇〇六〇〇地莫ヘテ、針路二四〇度、 速力二六節前衛及杉本隊ニ合同セリ 二桐、單独奄美大島、自航補給ニ連ニ合同スシ</p>
<p>100</p>	<p>100</p>	<p>100</p>	<p>100</p>	<p>100</p>

GF 10-25	KdMB 指揮官 10-25	五十鈴 10-25	P /KdF 10-25	霜月 10-25	KdMB P 10-25
P /KdF 1812 10-25	日向 1721 10-25	日向 1558 10-25	日向 1435 10-25	KdMB 1335 10-25	KdMB 1331 10-25
GF 機密第三五五六七番電 GF 電令作第三七四号 18日今夜乗入キ好機ヲ攻襲殲滅スベシ	KdMB 機密第三五五六五番電 大淀(六三)ノ位置ヘンテ33 速力ニ二節近寄レ	二本艦若干被爆モ七戦斗航海ニ差支ヘナシ	五十鈴機密第三五五二番電 空襲ノ爲ニ代用曳航不能本艦暫ク避退夜ヲ待テ 救難ニ任ズルモ情況悪ケルハ直ニ救助艇体ニ處分ス	KdF 機密第三五四三八番電 第六群ノ状況知ラセ	霜月機密第三五二四〇番電 敵Y〇〇機本隊ニ向テ
see	see	see	see	see	see

<p><i>mint</i></p> <p>KdMB 10-26</p>	<p><i>mint</i></p> <p>KdMB 指揮官 10-25</p>	<p>KdMB 指揮官 10-25</p>	<p>初月 10-25</p>	<p>10-25</p>
<p>(P) P 2AF GEB P 1AF</p> <p>KdMB 1406 10-26</p>	<p>KdMB 2126 10-25</p>	<p>KdMB 初月 各PP GF 2048 10-25</p>	<p>KdMB 1927 10-25</p>	<p>(P) P 2YB 2AF P P 165 1AF GEB</p>
<p>回航入 二十六日 一三〇〇ハワワ〇〇一七〇〇ハワセ</p> <p>KdMB 機察第三〇八〇七番電 KdMB 電令作第二六号 KdMB 大波日向伊勢霜月若月六九依り奄美大島</p>	<p>KdMB 機察第三五〇四二番電 初月交戦中、報二接、日向伊勢大波霜月若月 直三反転敵ヲ裏滅セシムニヨリ、地英ハハ</p>	<p>KdMB 機察第三五〇三五番電 今ヨリ反転敵ニ向テ針路一八五度敵占位側知ラセ</p>	<p>初月機察第三五二九〇五番電 我敵水上艦艇ト交戦中</p>	<p>爾余ノ部隊ハ右ニ警備中 今夜夜戦見送ラセ、KdMB 1X8ハ各指揮官行方ニ依リ補給地ニ向テ</p>
<p><i>ml</i></p>	<p><i>ml</i></p>	<p><i>ml</i></p>	<p><i>ml</i></p>	<p><i>ml</i></p>

	<p>P KdMB 0820 10-27</p>	<p>Kd.M.B 10-26</p>
	<p>艦 KdMB 0820 10-27</p>	
<p>三日向伊勢、搭載量各二五。頼、他満載</p>	<p>二日、及対艦、横付</p> <p>二日、向伊勢、終了後高峯外、横付セシ、霜月若月</p> <p>一入港後速り、日向、高峯外、横付セシ、大波、及対艦、横付</p> <p>KdMB 信令第 二五号</p> <p>奄美大島、於テ、依リ、補給イナセ</p>	<p>二十七日、四〇〇ヘコケ、十五、員、奄美大島着</p> <p>二初月、八、遠、二、本、隊、合同、ヨリ</p> <p>五十鈴、楨、桑、杉、桐、八、便、直、奄美大島、同、航、ス、ン</p> <p>多摩、摩、八、要、ス、ハ、奄美大島、於テ、補給、呉、同、航、ス、ン</p> <p>ス、ハ、楨、奄美大島、呉、間、多摩、艦長、指揮、ヲ、受、ケ、其、護、衛、ニ、任、ズ、ヘシ</p> <p>三、秋風、八、二十七日、早朝、本隊、合同、ス、ハ、シ、補給、部隊、指揮官、八、海防、艦、ヲ、シ、テ、附近、対、シ、掃蕩、任、ズ、ヘシ</p>
<p>信</p>		<p>100</p>

<p>P KdMB 1200 10-27</p>	<p>P GF 10-27</p>
<p>艦 1200 10-27</p>	<p>捷兵作戦部隊 1151 10-27</p>
<p>KdMB 信令第1号文號 救助收容者移乗区分ヲ差当リテ、通リ度ニ 速カニ移乗スルヘシ 瑞鶴 瑞鳳 六五三 陸六〇一 陸四〇 千歳 大代 月 (伊勢) 但シ艦隊司令 新附 及 隊 乗 員 並ニ 航空隊 上 官 以上 大 度</p>	<p>GF 機 盛 第 七 九 下 番 機 北島海戦ハ全軍ノ勇戦奮斗ニ依リ敵艦隊ニ天角 專ヲ与ヘタル雖モ敵ハ尚執拗ナル戦意ヲ以テ我ニ挑 戦シ遂ニ北島中部ニ上陸據兵ヲ獲得スルニ至リ今 ニ敵ニ大反撃ヲ加ヘテ今全圖ヲ破摧スルニ非スハ 遂ニ敵ヲシテ作戦目的ノ完遂セムベシ 各部隊損 害ト將兵ノ惨害ニ之ヲ察スルニ余リタルモ敵モ亦我ニ接 スル窮境ニアルヲ思ハ茲ニ數句ノ間萬苦ヲ忍ビ不屈 不撓ノ勇ヲ振ヒ犠牲ノ厭ハズ捷号作戦目的ノ達成 ニ邁進スベシ</p>
<p>信</p>	<p>1/20</p>

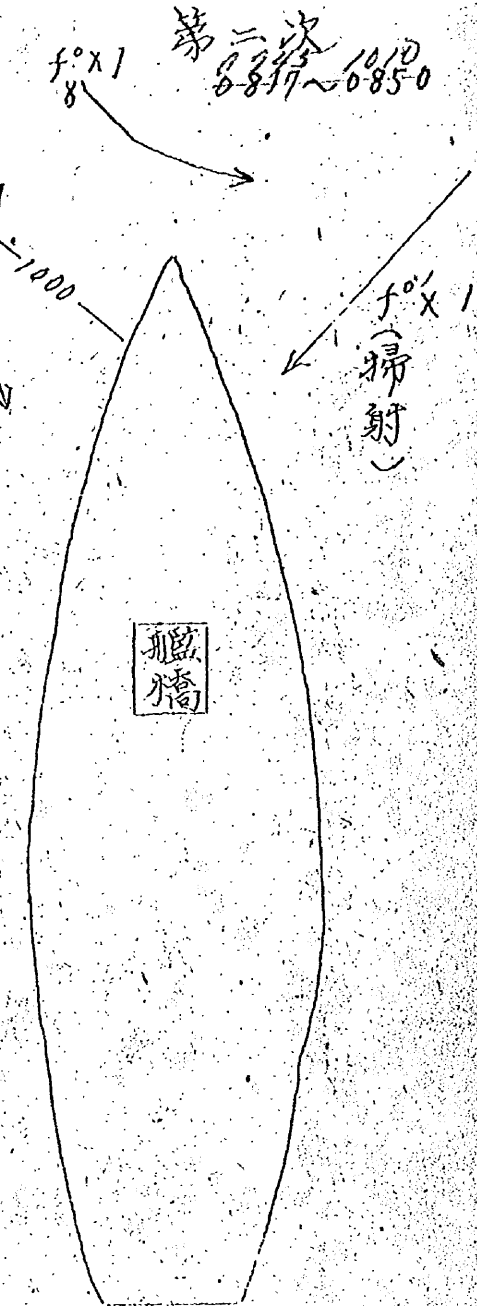
<p>戸 KdMB 2125 10-27</p>	<p>GKF 参謀長 10-27</p>
<p>艦 2125 10-27</p>	<p>捷号作戦部隊 1304 10-27</p>
<p>KdMB 後令第 三ニ號 日向神機雷母艦、大澤、若月、西要求、應、兵器庫 庫用品ヲ供給報告スベシ</p>	<p>GKF 機密第 三ニハ番艦 左記、諸項ニ鑑ミ、敵、KdMB 部依然、ソノ島東方海面 ニ在リ、北基方面ニ討テ、敵、新行動開始、必アリ、警戒 ヲ要ス 一、二十六日、〇〇四〇、マリア、四五度、三五〇、湊大部隊(電探知) 二、同、二二〇、エウカ、敵、戦機三機偵察 三、同、二〇二、エ、上、22、4x18、東航(伊53潜報告) 四、二十七日、〇八一〇、バタン、上島、上空、グラマン四機 五、同、〇、ハ、ホ、ロ、見張所(含、マ、島)、ノ、三〇、度 三〇、料、巡洋艦、数、十、隻、針路、北、西 六、同、〇、九、〇、五、陸、軍、ホ、ロ、口、監視、哨、東、方、約、三〇、隻 ノ、艦、艇</p>
<p>信</p>	<p>ee</p>

<p>KdMB 10-27</p>	<p>P. KdMB 2135 10-27</p>
<p>(P) GF 2YB P YB</p> <p>大庭 若月 霜月 大分丸 海防 229 33</p> <p>KdMB 1644 10-28</p>	<p>伊勢 日向祭 大庭 若月</p> <p>2135 10-27</p>
<p>ニ水職明日(00) 将旗ヲ日向ニ移揚 3/8 司令官ハ便宜五十鈴ニ旗艦ヲ復帰スシ</p> <p>霜月ハ内海西部ニ於テ急遽修理ノ上同ジク 行動スモトス</p> <p>各指揮官所定ニ依リ行動スベシ</p> <p>編入セラル大庭若月ハ京後 1YB 2YB 41dg</p> <p>GF 電令作第三八号ニ依リ大庭ヲ KdMB 1YB 41dg ヨリ除キ</p> <p>KdMB 機密第二七三五六番電 KdMB 信令作第三号</p>	<p>差当リ必要ナル物ハ他現有治療品ヲ大部ヨリYB及2YB ヨリ若依リ明朝迄ニ移載セシメ度</p> <p>伊勢大庭ニ移載ス</p> <p>二日向ハ三分ノ一ヲ大庭ヲ残りニ分テ若月ニ移載ス</p>
<p>10/27</p>	<p>信</p>

<p>△ 4sf 1110 10-28</p>	
<p>艦 1110 10-28</p>	
<p>位 東列船隻後々依り保一警戒航行序列 二序一警戒航行序列ヲ尤通ス 4sf 單從神開戸離一五料</p>	<p>三 KdB 本隊及 曆月八八月一三〇〇 發内海西部同航 急速參戰準備ヲ完成 四 杉桐 奄美大島ニ補給後内海西部同航 ス 五 補給部隊ヲ補給終了七八日發兵同航 修理ノ後令ヲ待テ KdMB 信令第三五號 KdMB 八三依り奄美大島々港内海西部同航 一 發港時刻 一三〇〇 發港準順 五十鈴 4sf 發擊針路 一〇五度 發擊子速力 三〇節</p>
<p>信</p>	<p>100</p>

主 砲	最射程附近三三齊射 撃墜機ナシ
主 砲	最射程附近三三四齊射 撃墜機ナシ
第四次	自一三三六 至一三四二 九口機(戦爆雷) 第五群(向フ)

第三次 自一三〇一
至一三三二
八口機(戦爆雷)
第五群(向フ)



(口) 敵爆撃之依ル至近彈概位

機銃	擊墜砲(群)		擊墜隊數	記事
	船方位	距離(米)		
左一七〇	左二七〇	〇五〇	一	第六次 自一七二四 至一七二六 一二機(爆) 最大射程附近より周射撃せしむ真面目に攻撃す 撃墜機ナシ スルモノナク何れも主砲ノ發砲ヲ見テ避(退)セリ
左一〇〇	左三〇	〇三〇	一	
左一〇〇	左三〇	〇三〇	一	
左一〇〇	左三〇	〇三〇	一	

第五次 自一三二七 至一五四一 六〇機
 (第五群ニ向テモノ又歸途ニアル數機編隊ノ飛行機)

附圖(口)参照

1180

(4)

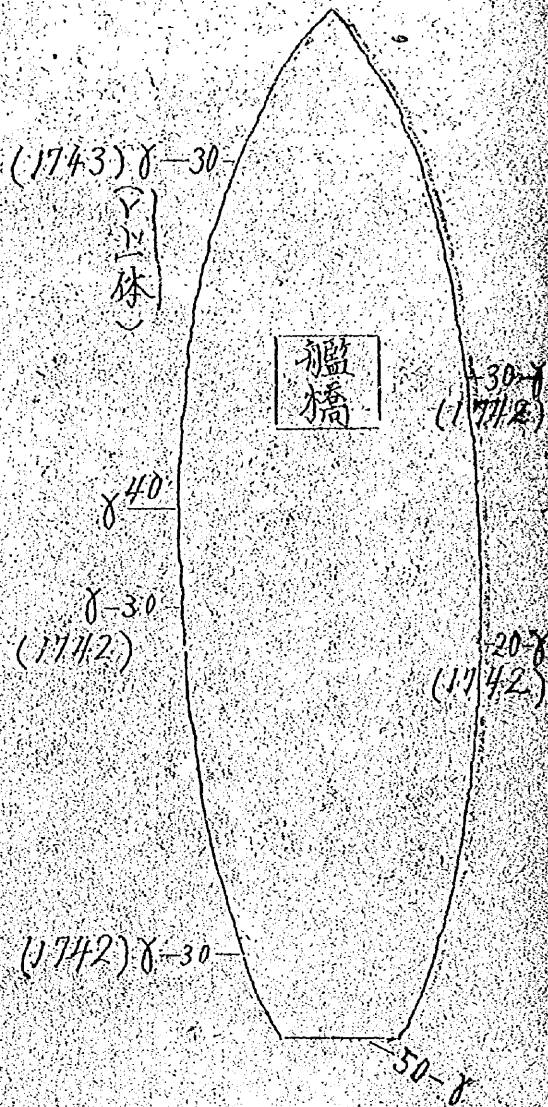
第六次
1724~1726

(一) 船体
(二) 船体兵器被害

第三兵員室支柱下部弯曲
艦橋窓硝子 十八枚
司令塔窓硝子 四枚
前部戦時治療室殺菌水器

損傷状況

爆風ニヨリ損傷
爆風及機銃弾片直破損
爆風及機銃弾片直破損
並進弾衣リ内部亀裂



5

0812

士官兼炊所 兵員兼炊所 (二)兵器 (一)砲術料	煙突 天井板 主砲爆風ニ依リ剝脱 主砲爆風ニ依リ剝脱	損傷 砲術料 所	損傷 狀況 况	六番機銃 七番機銃	尾栓燒損ニ取外不能 尾栓室膨張	(2)航海料 水中聽音器捕音器 水中聽音器受信器 艦橋戰鬪羅針 下部見張子八程双眼望遠鏡 下部見張子八程双眼望遠鏡 防禦張八程高角双眼望遠鏡	損傷 狀況 况	個數 五個 四個 四個 一個 一個 一個 一個 一個 一個	至近彈ニ依リ破損 至近彈ニ依リ破損 至近彈ニ依リ破損 至近彈ニ依リ破損 機銃彈片ニ依リ破損 機銃彈片ニ依リ破損 機銃彈片ニ依リ破損 機銃彈片ニ依リ破損 機銃彈片ニ依リ破損 機銃彈片ニ依リ破損	速力通信器板	二個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個 一個	爆風ニ依リ破損
-----------------------------------	-------------------------------------	----------------	---------------	--------------	--------------------	--	---------------	--	--	--------	--	---------

6

二 吉 信号灯
 一式哨信機増幅器
 齊動信号灯
 戰鬪艦橋上癩双眼望遠鏡

(3) 通信科

一個 爆風音リ破損
 一個 爆風音リ破損
 一個 爆風音リ破損
 一個 機銃弾片ニヨリ破損

損傷箇所

損傷状況

無線電話器電源線及
 受聴器線
 受信用空中線及
 送信用空中線

各一 彈片ニ依リ切断
 四 彈片及爆風ニヨリ切断

(4) 内務科(電機部)

高聲通話器用増幅器
 高聲通話器用高話器

激動音リ破損
 激動音リ破損

(三) 機関

船体
兵器

Franklin 13

五 功績

特記事項ナシ

(二) 人員ノ被害

計	戦死	准士官以上	下士官・兵
二	一	一	六〇

六 戰訓所見

砲術科關係

(1) 電探

電探 終始遠距離視界外目標ヲ捕捉シ編隊ノ數及近接狀
況ヲ詳カニ極メテ有効ニ利用シ得ル

(2)

後播ニ裝備セルニ號ハ高速航行時震動大ニシテ感
程度ニ到リ目標ヲ捕捉スル狀況ニ鑑ミ裝備位置防震裝置ニ関
研究ノ要アリ

(3) 對空射撃

日向ニテ實施セル對空戰鬥ハ第一次及第二次ハ味方空母ニ殺到
スル敵機ニ對シ各種砲銃ヲ以テスル掩護射撃其ノ他ハ第六次ノ際
ギ主砲高角砲ヲ以テスル遠距離射撃ニテ最後ノ第六次ノ十數
機ヲ以テスル急降下機ニ對シ機銃ヲ以テ行ハレタル關係上擊墜ヲ
確認セルモノ著シク僅少ナリ

(主砲)

最大射程附近ニ於ケルニ主砲砲ニ式彈ノ彈子放出視認困難
ナリシトアリ殊ニ太陽方向ニ對シ射撃並場合ニ甚シク彈子放出後
彈体共々水面ニ落下スル爲メ首彈ニ非ズト觀察セザラズ

2 第三火以後五群ニ向テ編隊群々ハ船接機ニ對シ射撃セシモ砲煙
 シ認ムルヤ直チニ回避ヲ行ヒ近接セズ有効ナリシモイ認ム但シ右ハ他
 ニ重要ナル目標アリシ爲メ本艦ヲ攻撃シテサツリシニ因ルモノト思考
 セラル

(高角砲)

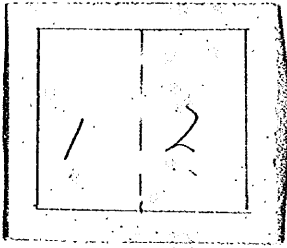
1 三乃至四折附近ヲ復連ニテ各ヲ向ヨリ母艦ニ指向スル敵機ニ爲指揮
 官目標選定ニ迷ヒ目標変換多ク母艦能頻頻撃テ爲目標捕獲
 困難ニシテ測巨モ殆ト不能ニ近ク射撃効果發揮不充分ナリ
 情況ニ應ジ指揮官ハ目測諸元ニシテ彈幕射撃ニ應ジ得ル如ク
 日常修練シアルト必要ナリ

2 機銃ニ近キニ四番高射器ハ機銃用如クヤ発砲音爲高射
 機内ニ於テ先號令命令通達セズ整備通報亦射手ニ聞エス
 之が爲射撃速度充分セズ

(機銃)

1 第六火他母艦ニ向テ復連機ニ目標トセシ爲機銃ノ射程外ニ近
 彈着ハ機ニ後落セリ
 群指揮官ハ初陣ナリト輸型陣内ニ對テ戰鬥ニ於テ母艦ノ
 掩護ノ念強過ギシ依リシニ非ズト認ムル戰鬥ノ則則群
 指揮官ニシテ機銃長ニ到ルニテ徹夜セシ置クノ極メテ肝要ナリ

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A3判 以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>2 年 10 月 26 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 尾形 文夫 (印)</p>	

14

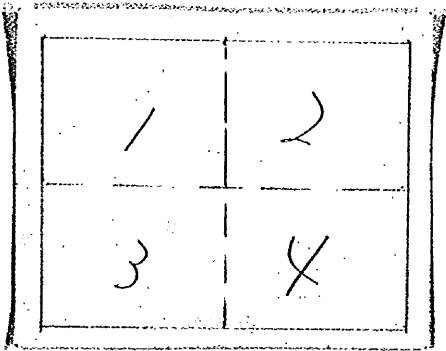
軍艦日向合戦圖
自十月二十五日
一七五〇

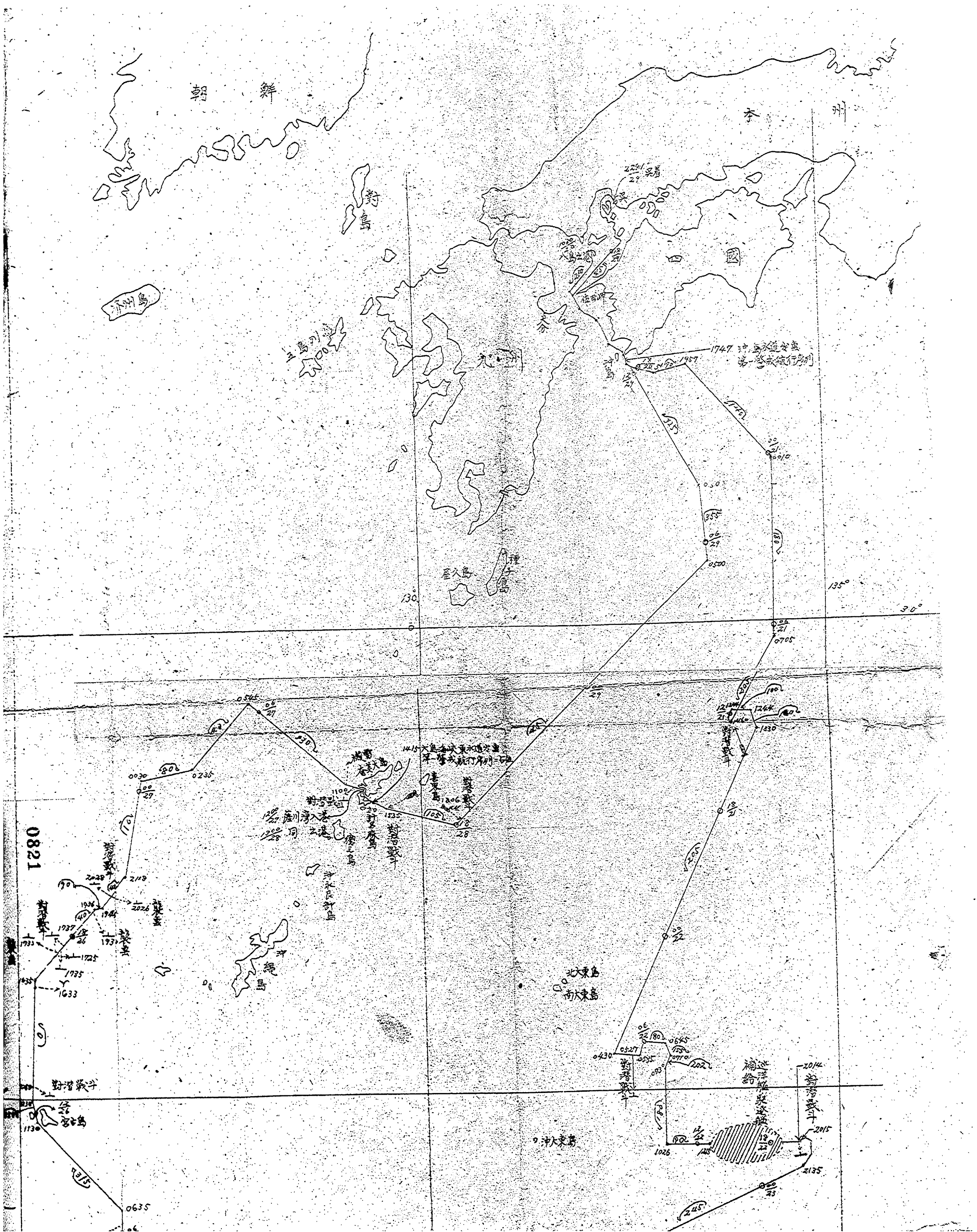
500000



0819

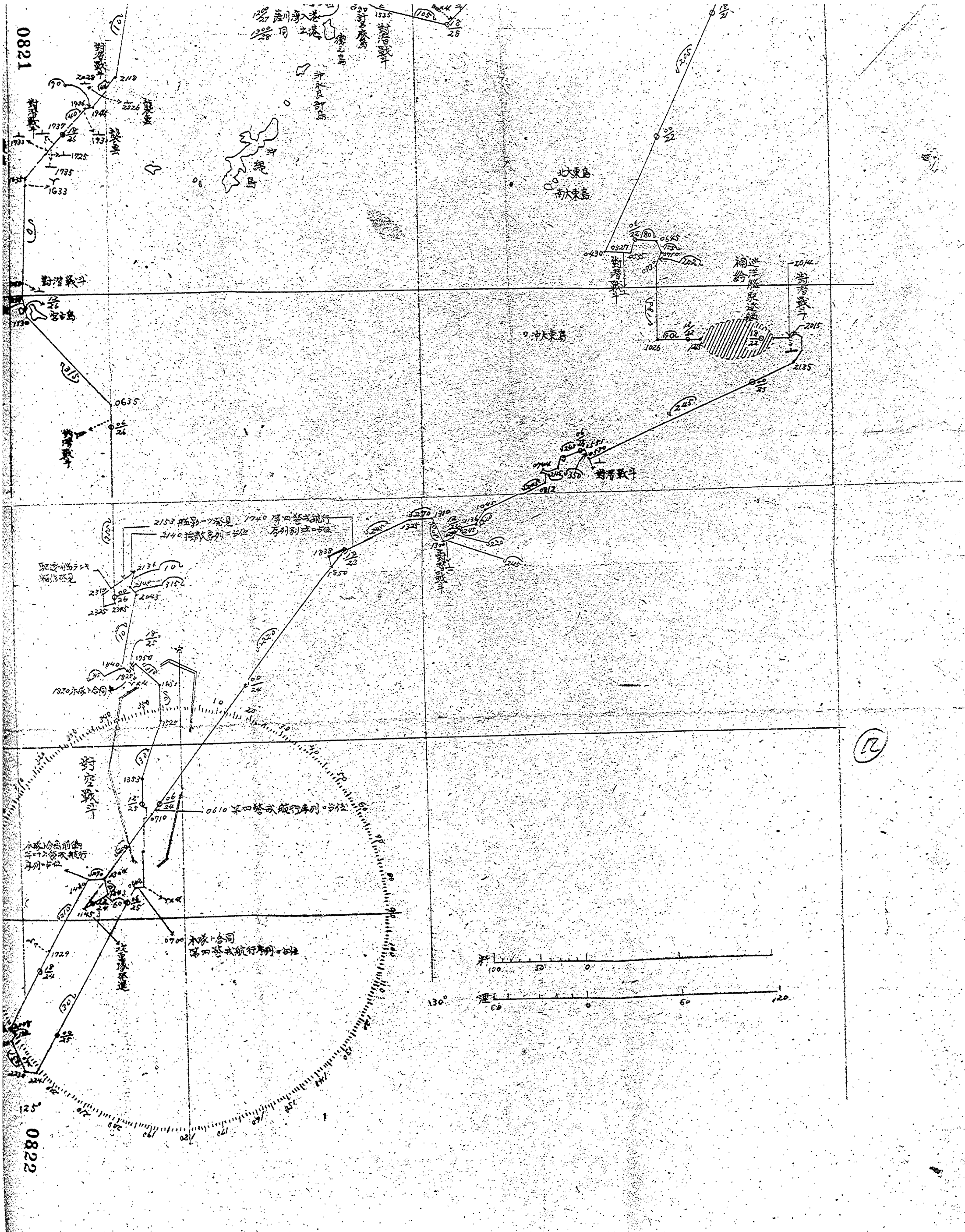
分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判 以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>2 年 12 月 26 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 尾形 文夫 (印)</p>	



0821

0822

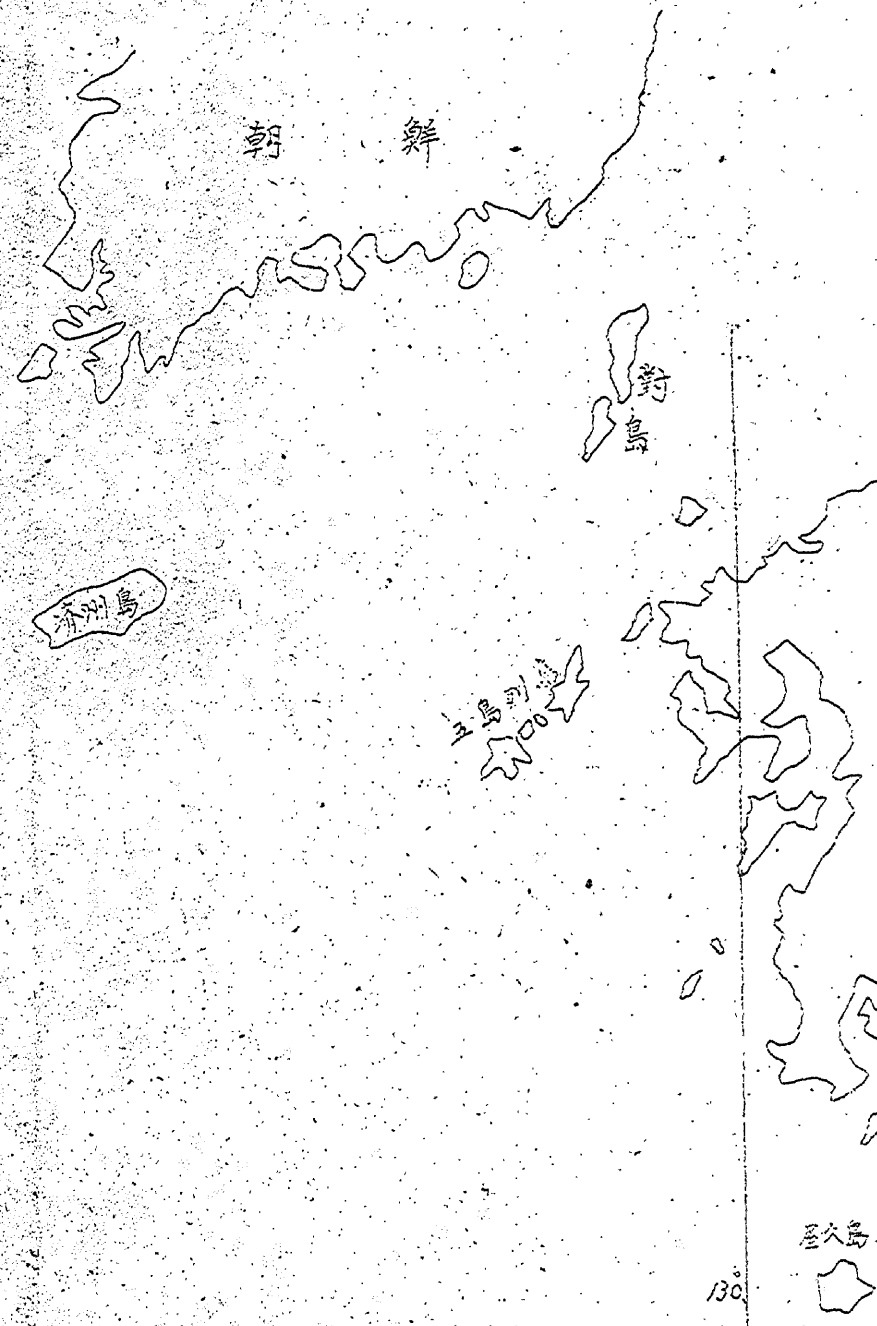


捷1號作戰軍艦日向行動圖

昭和十九年十月一日
至 同 十月十九日

海圖第381號卜同尺度

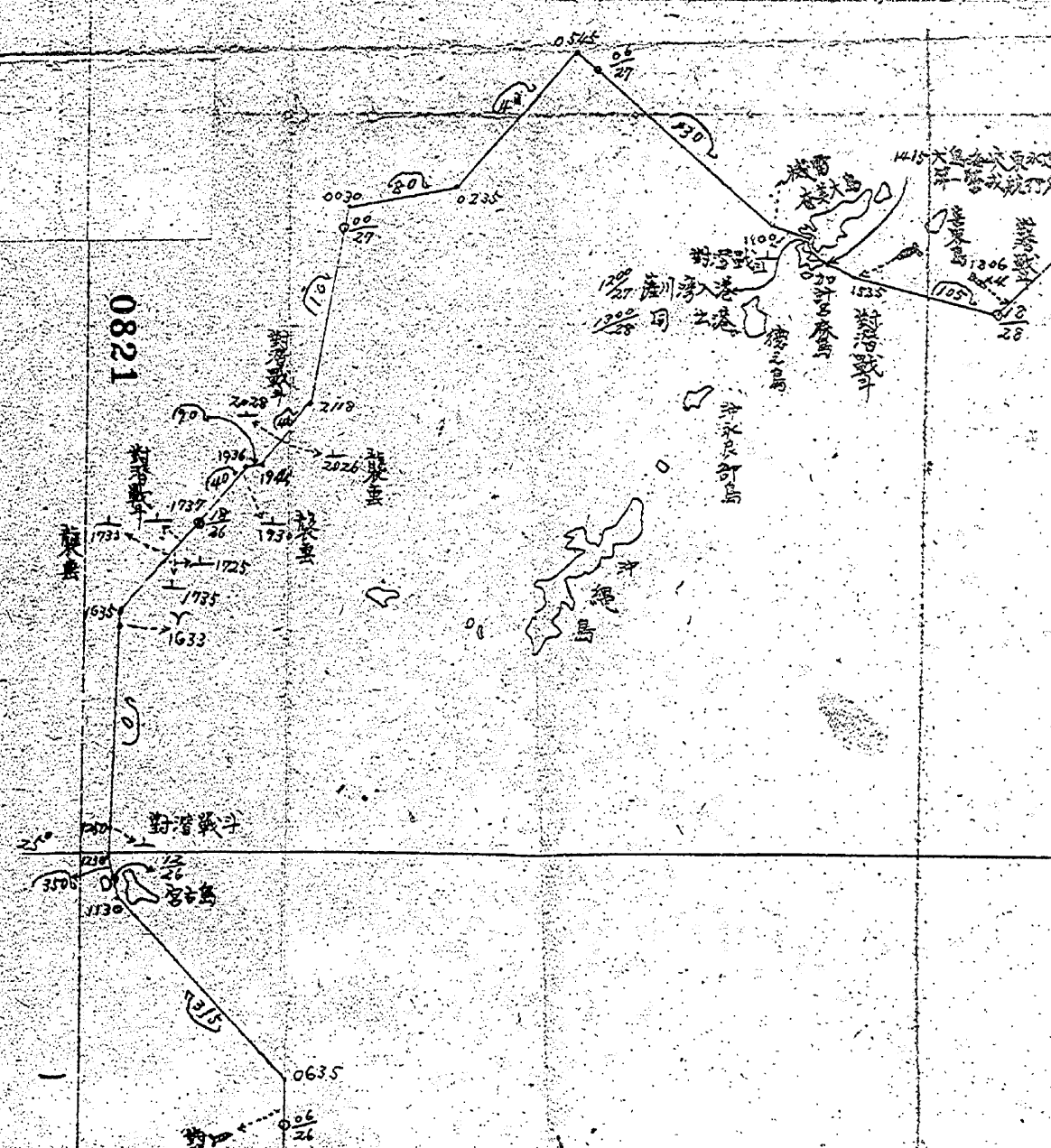
4000000



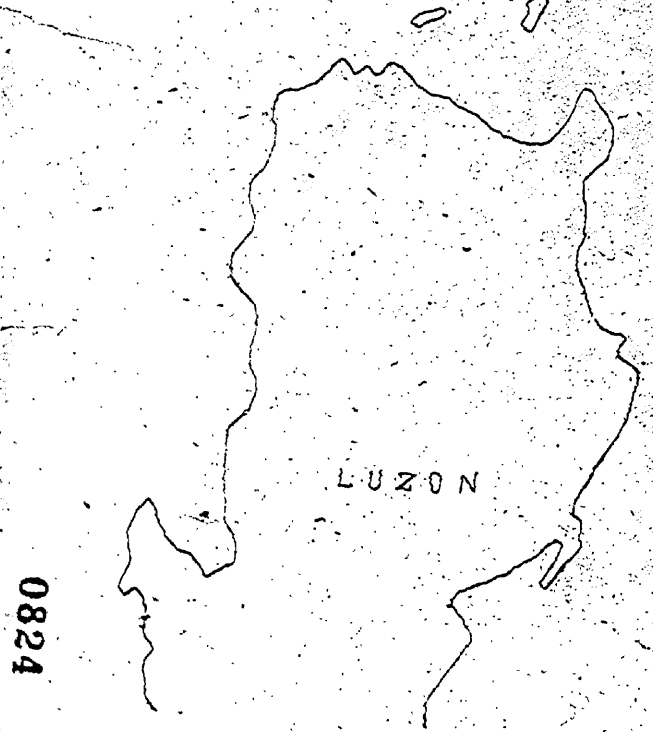
支那

0823

0821

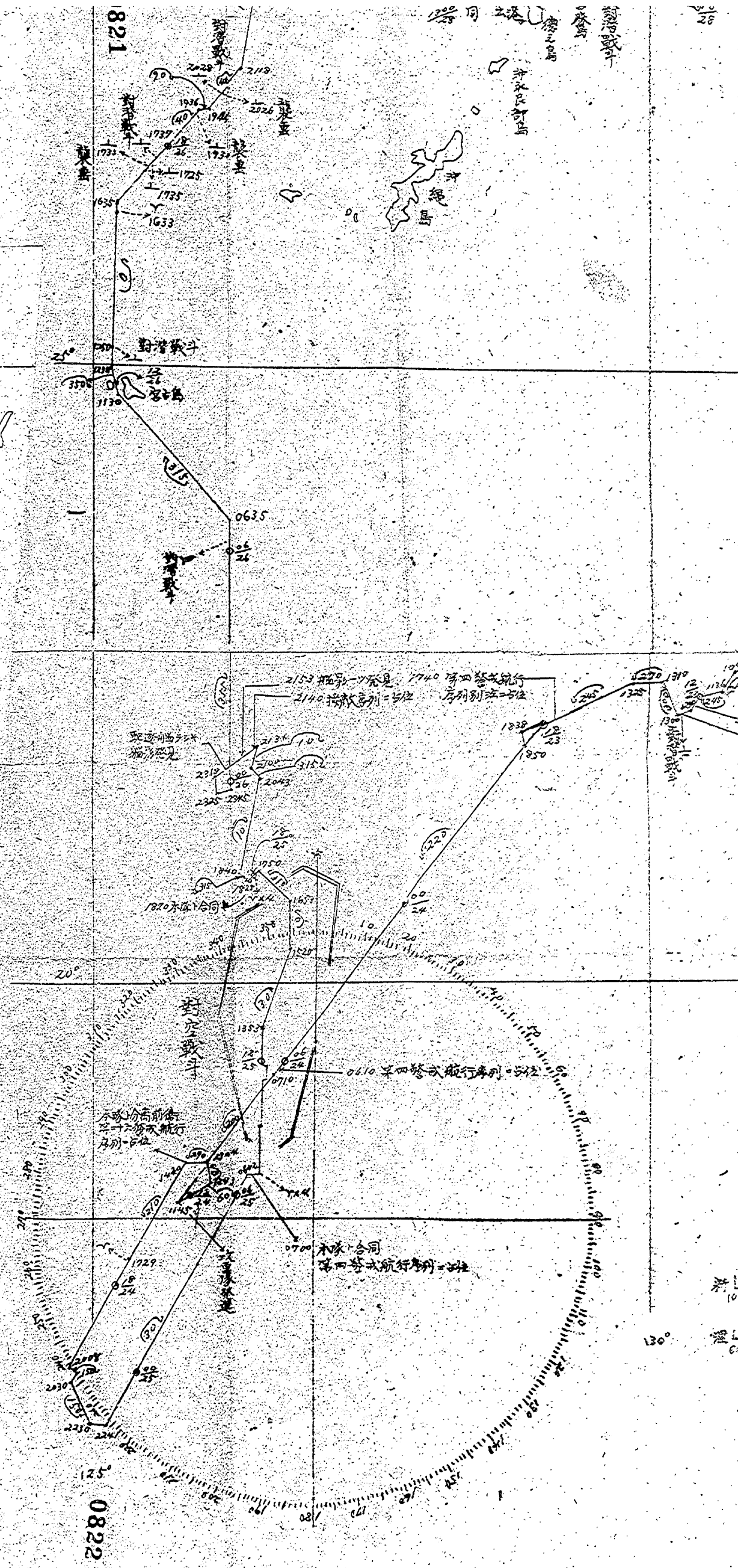


0823



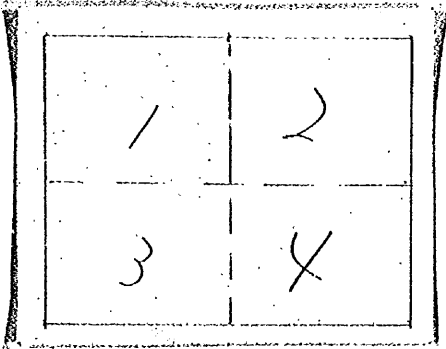
0824

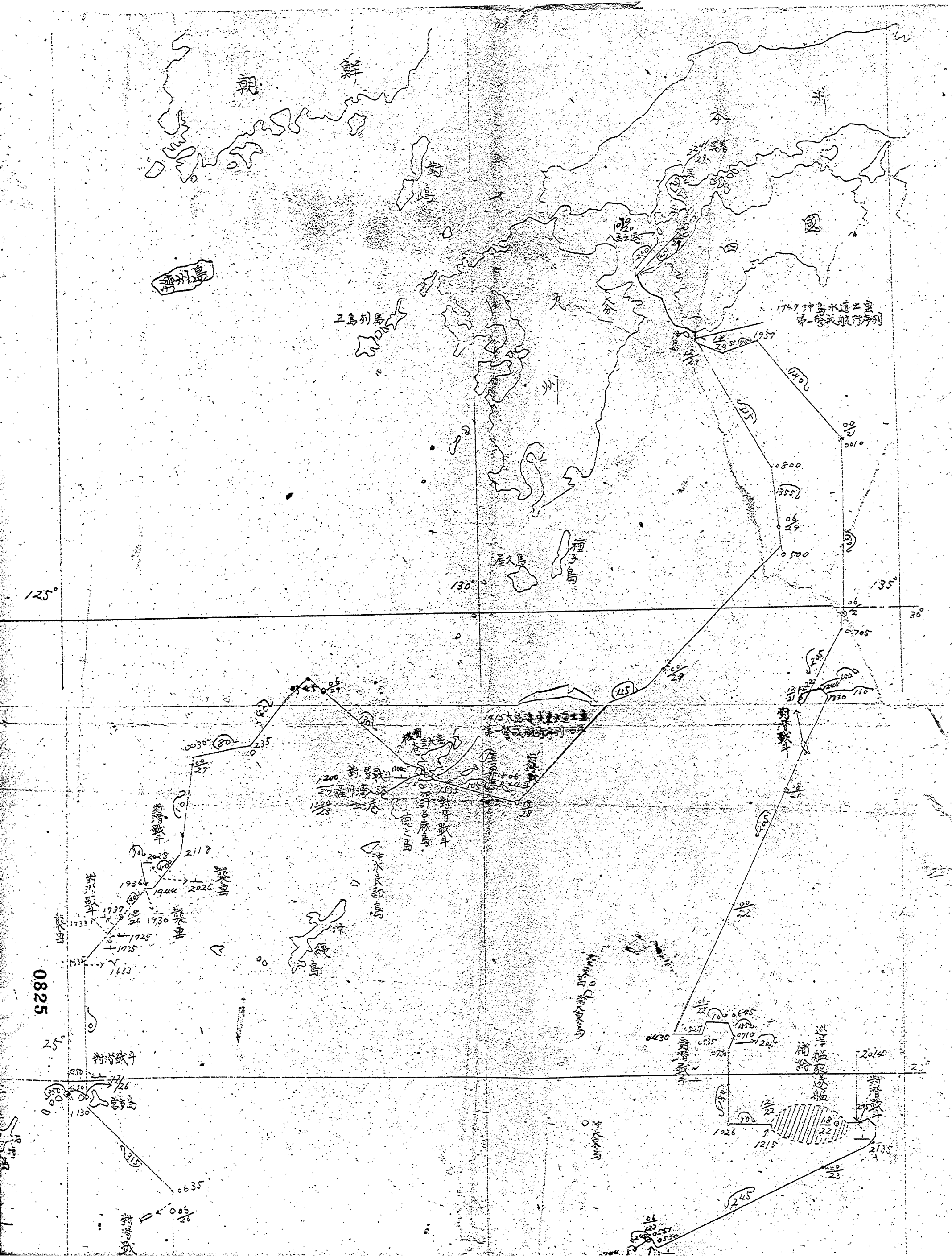
821

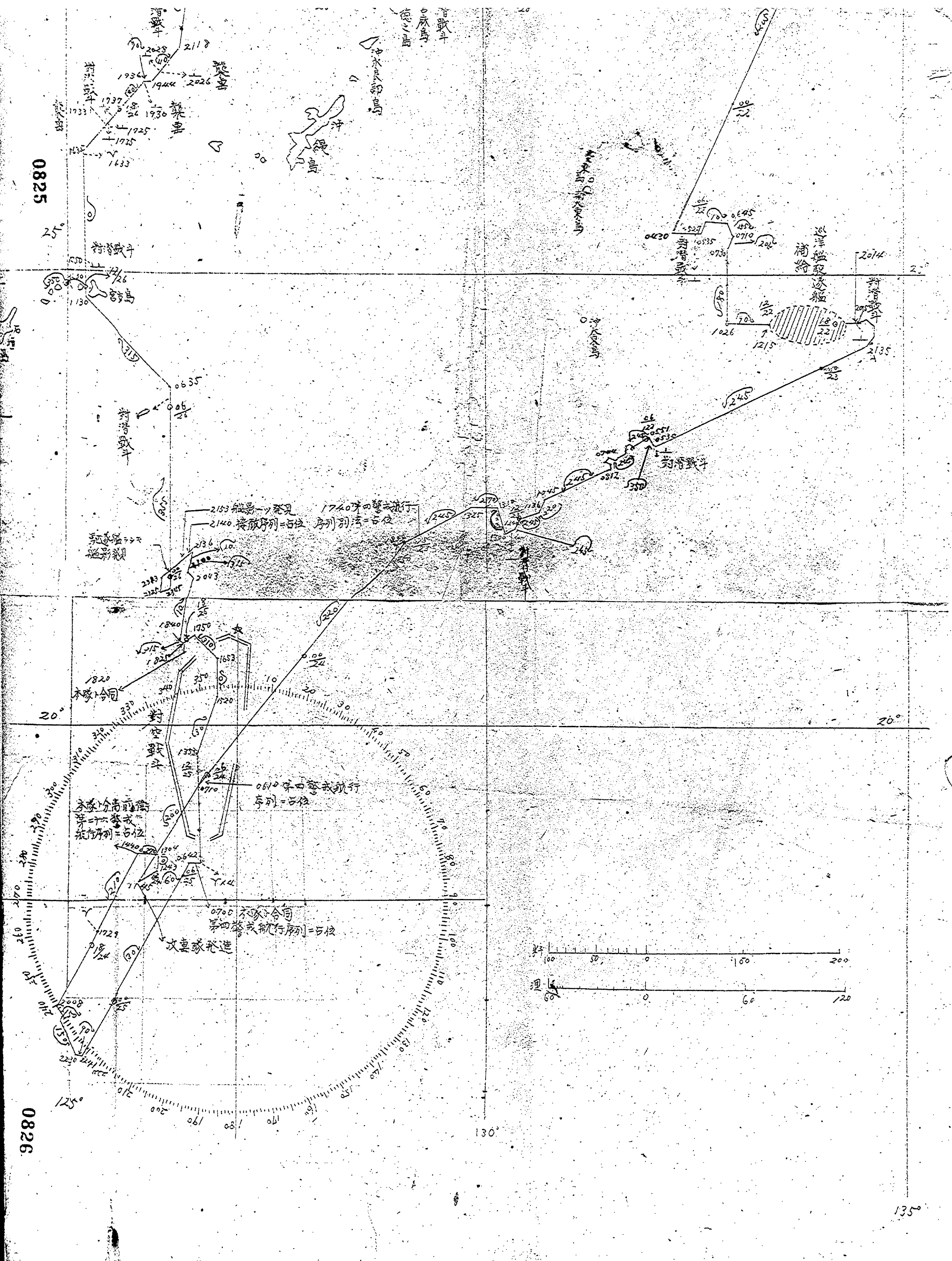


822

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A3判 以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>2 年 12 月 26 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 尾形 文夫 (印)</p>	





捷ノ號作戰軍艦日向行動圖 (自昭和九年十一月一日起至同月十九日)

海圖第381號 同尺度

4,000,000



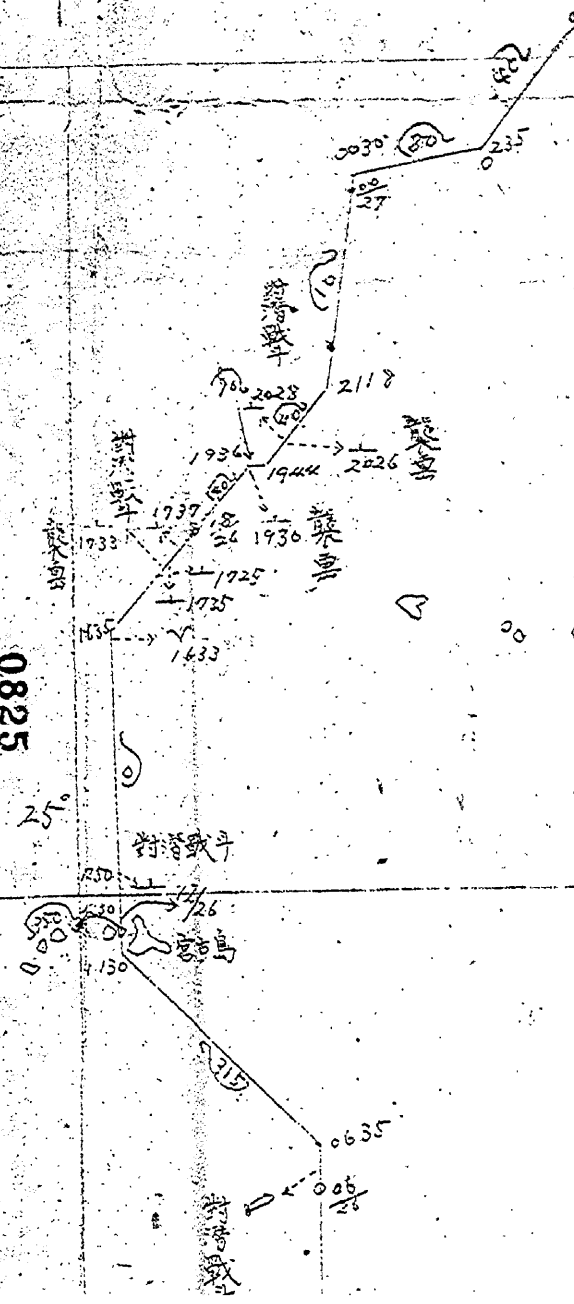
臺灣島

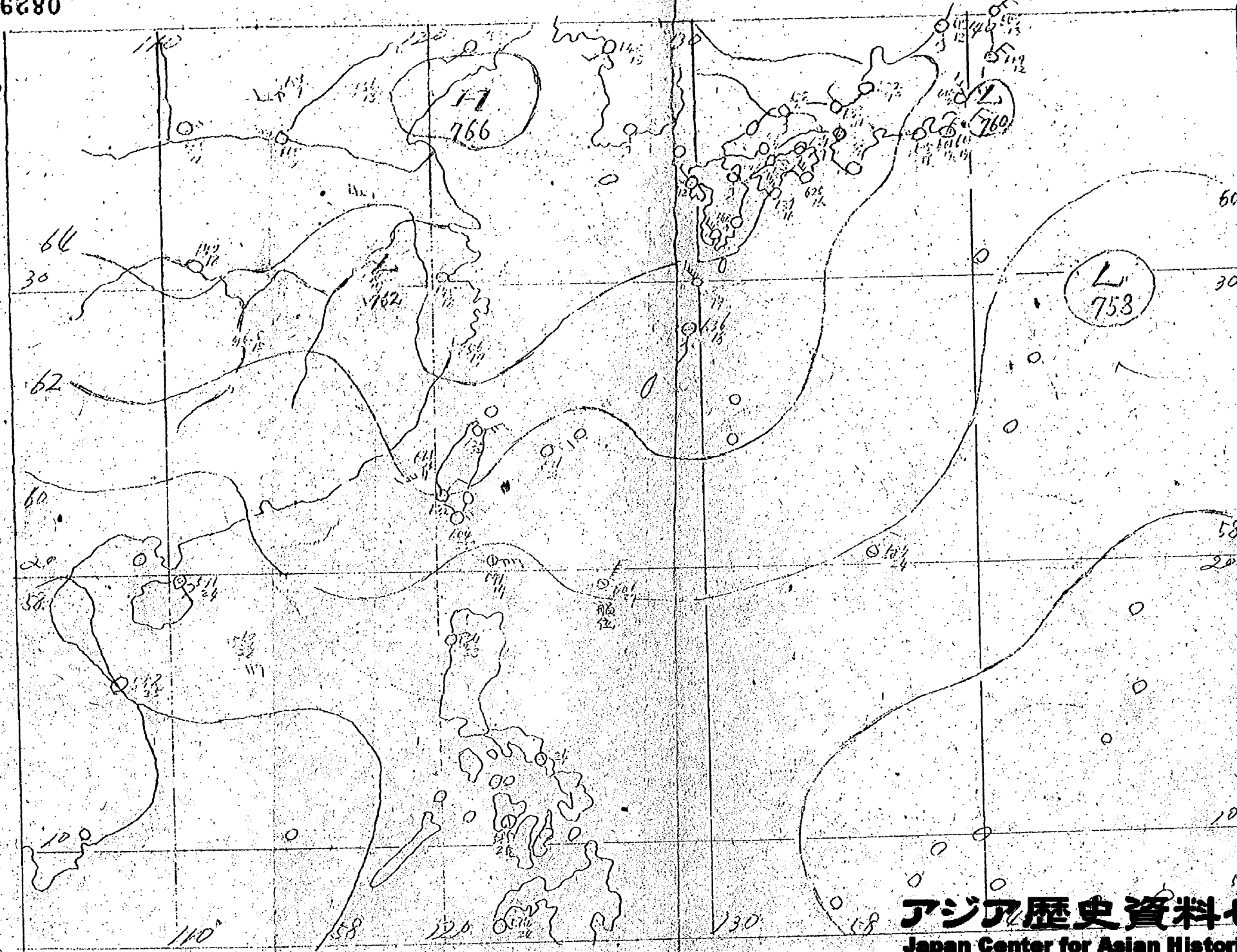
支那

125°

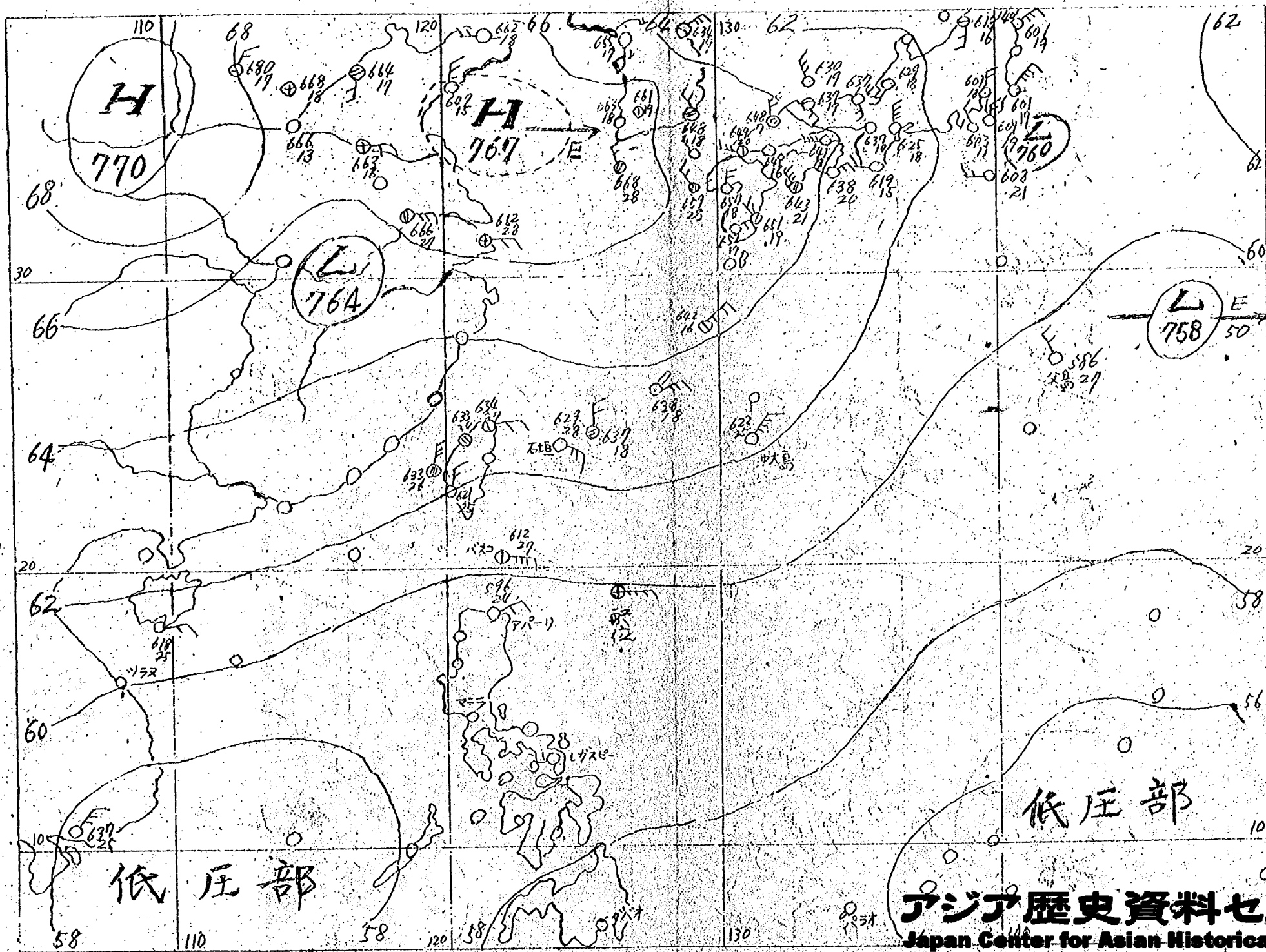
0827

0825





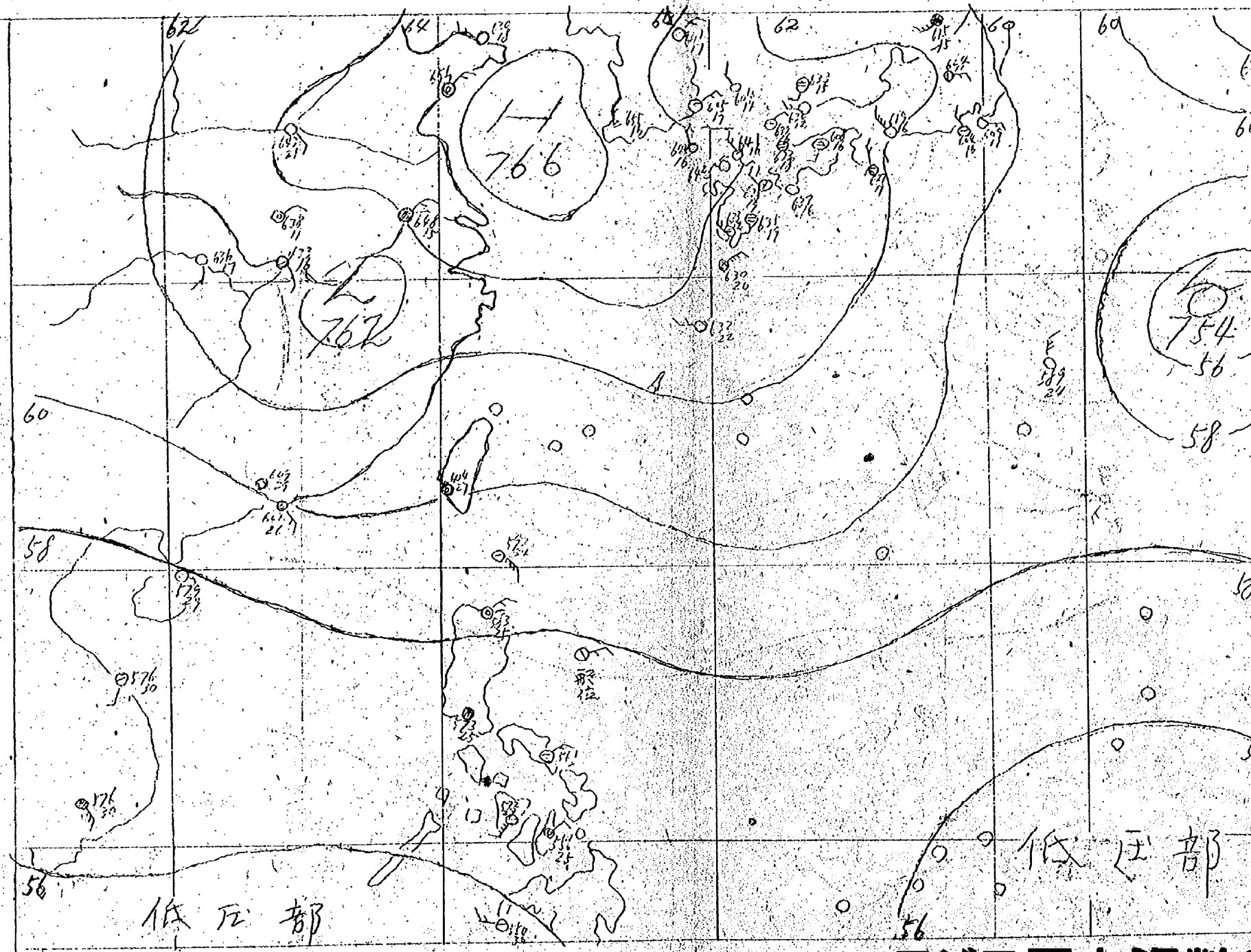
昭和十九年十月二十四日。六時



昭和十九年十月二十四日 一時

低圧部

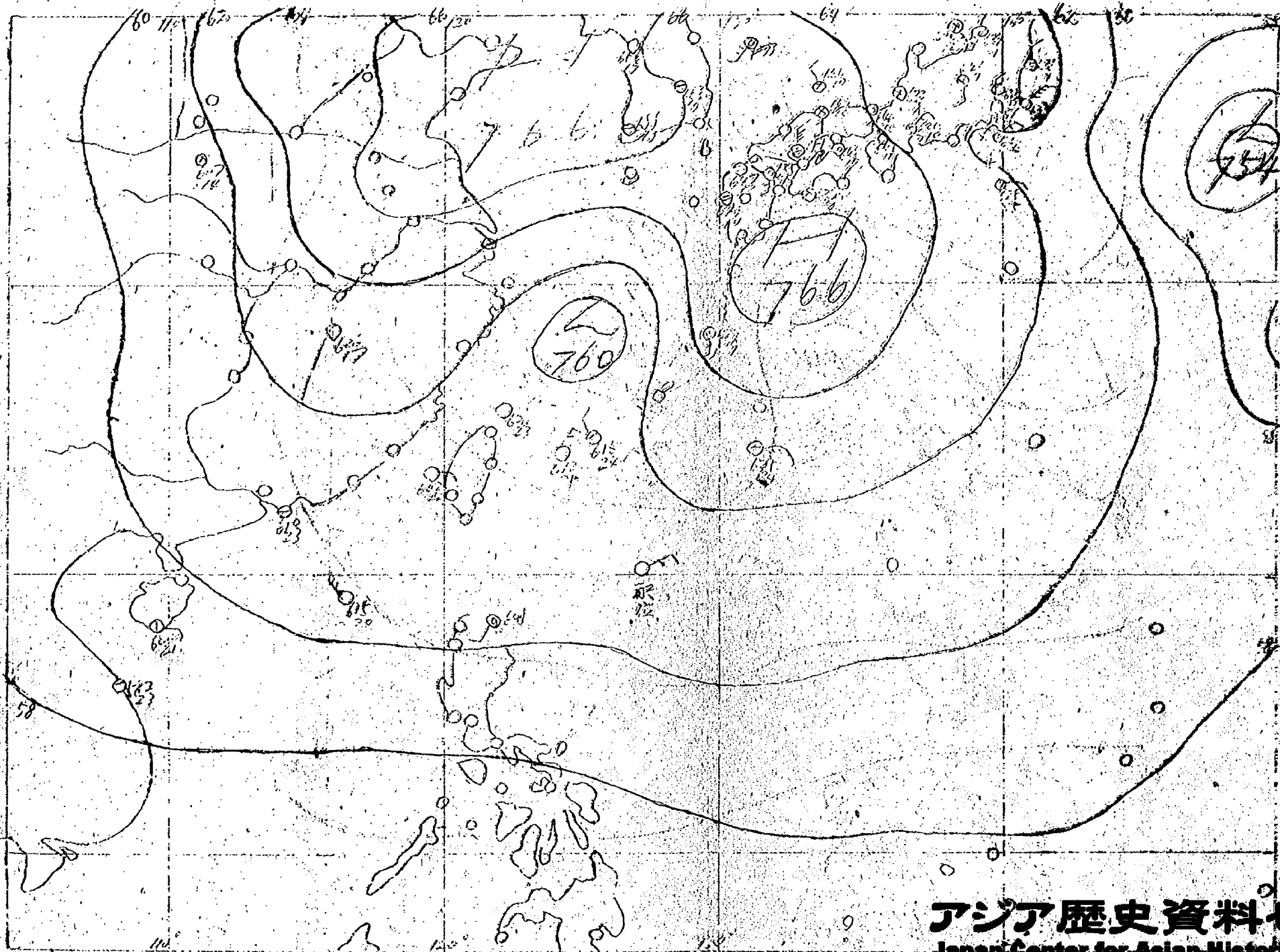
低圧部



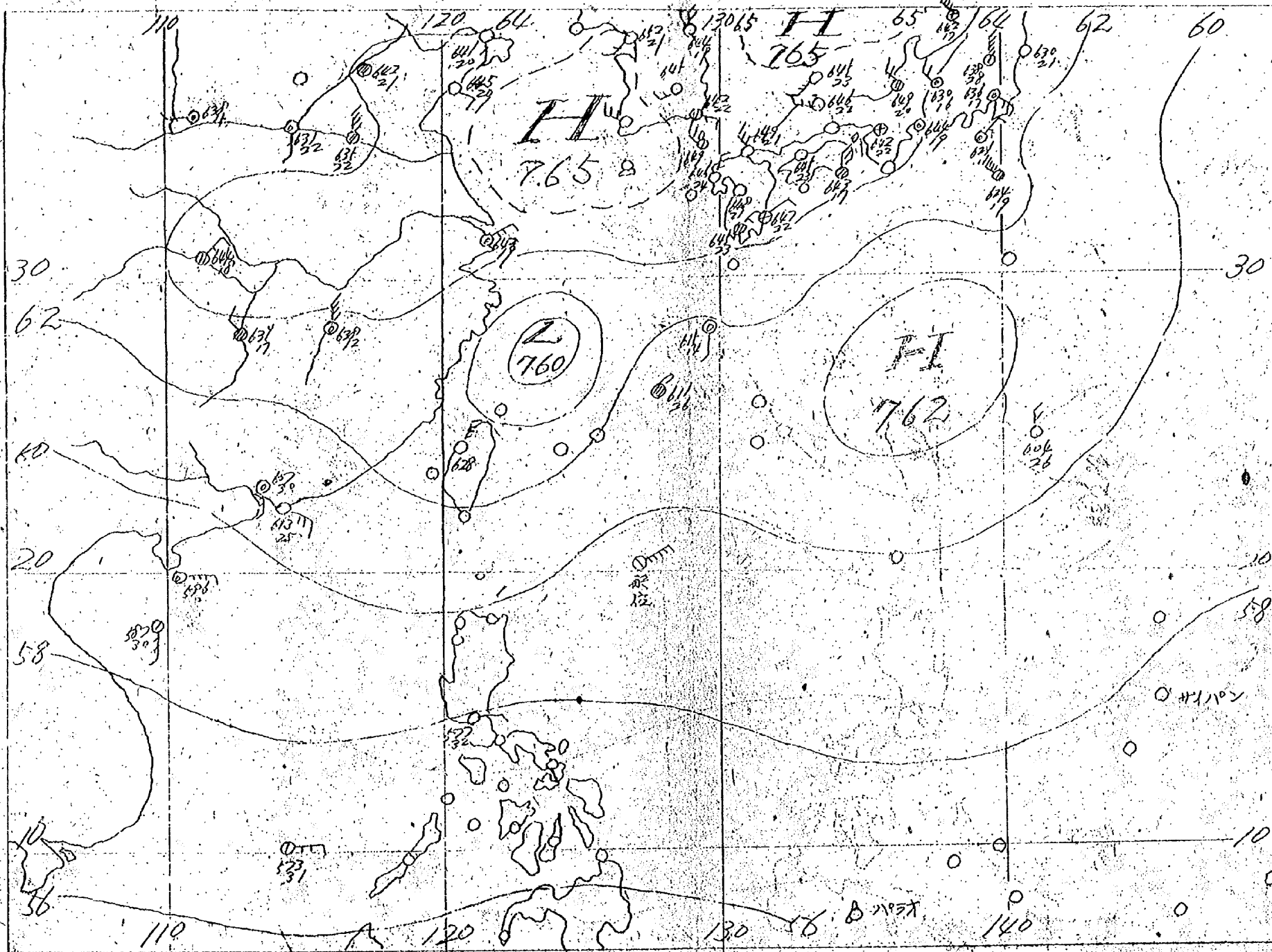
昭和十九年十月二十四日十一時

低圧部

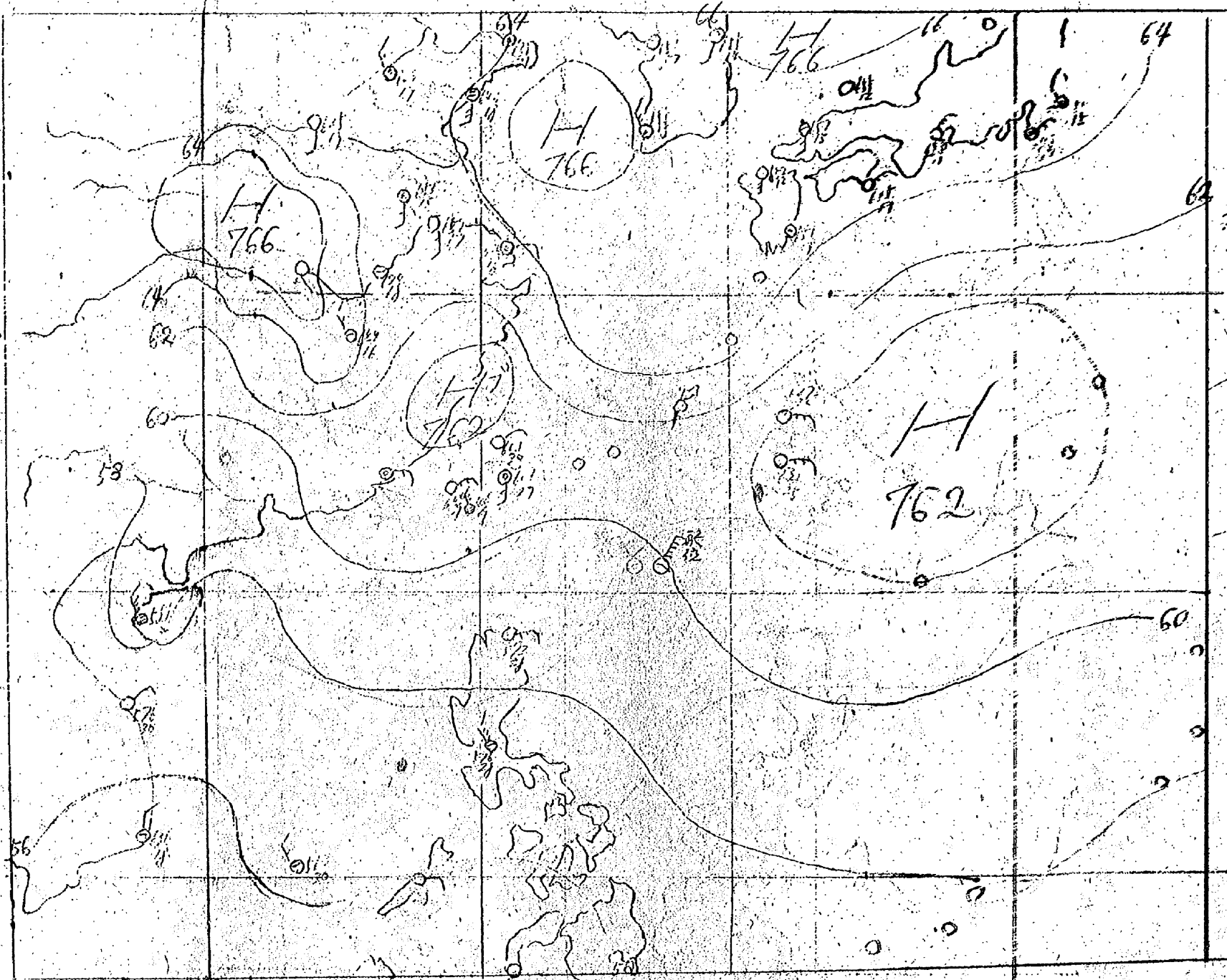
低圧部



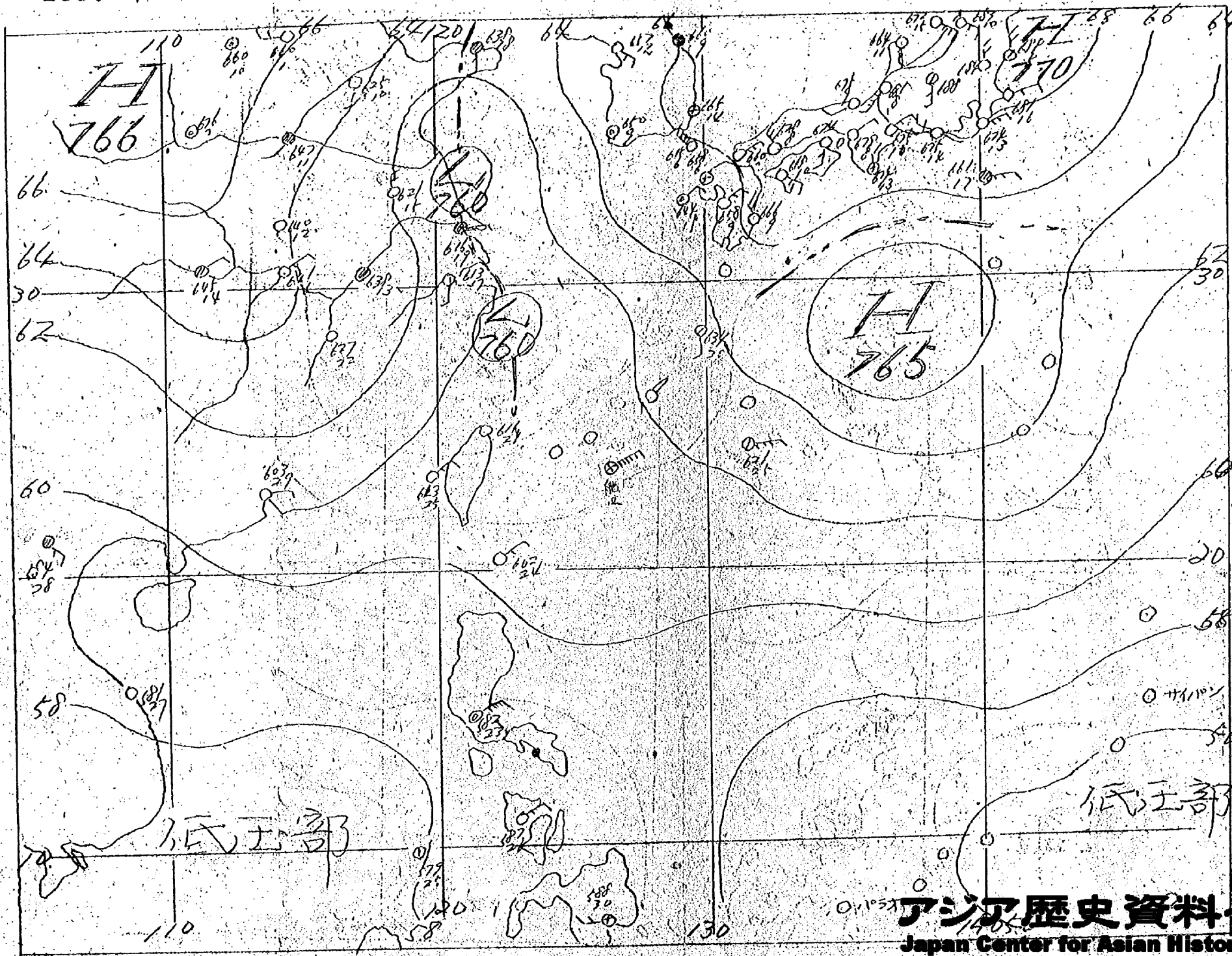
昭和十九年一月三日
 一取位



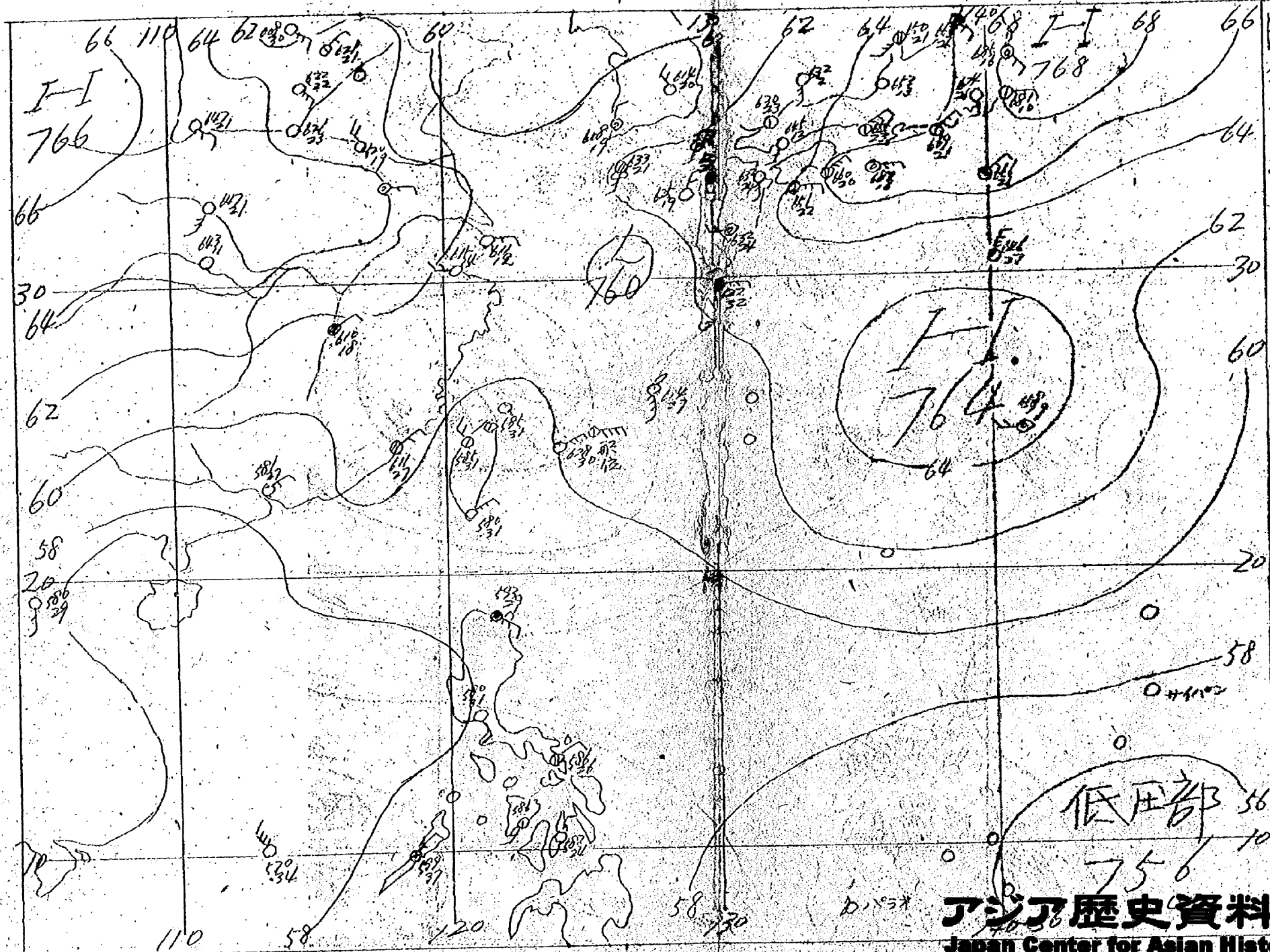
昭和十九年十月二十五日十四時



昭和十九年十月二十五日十八時
58

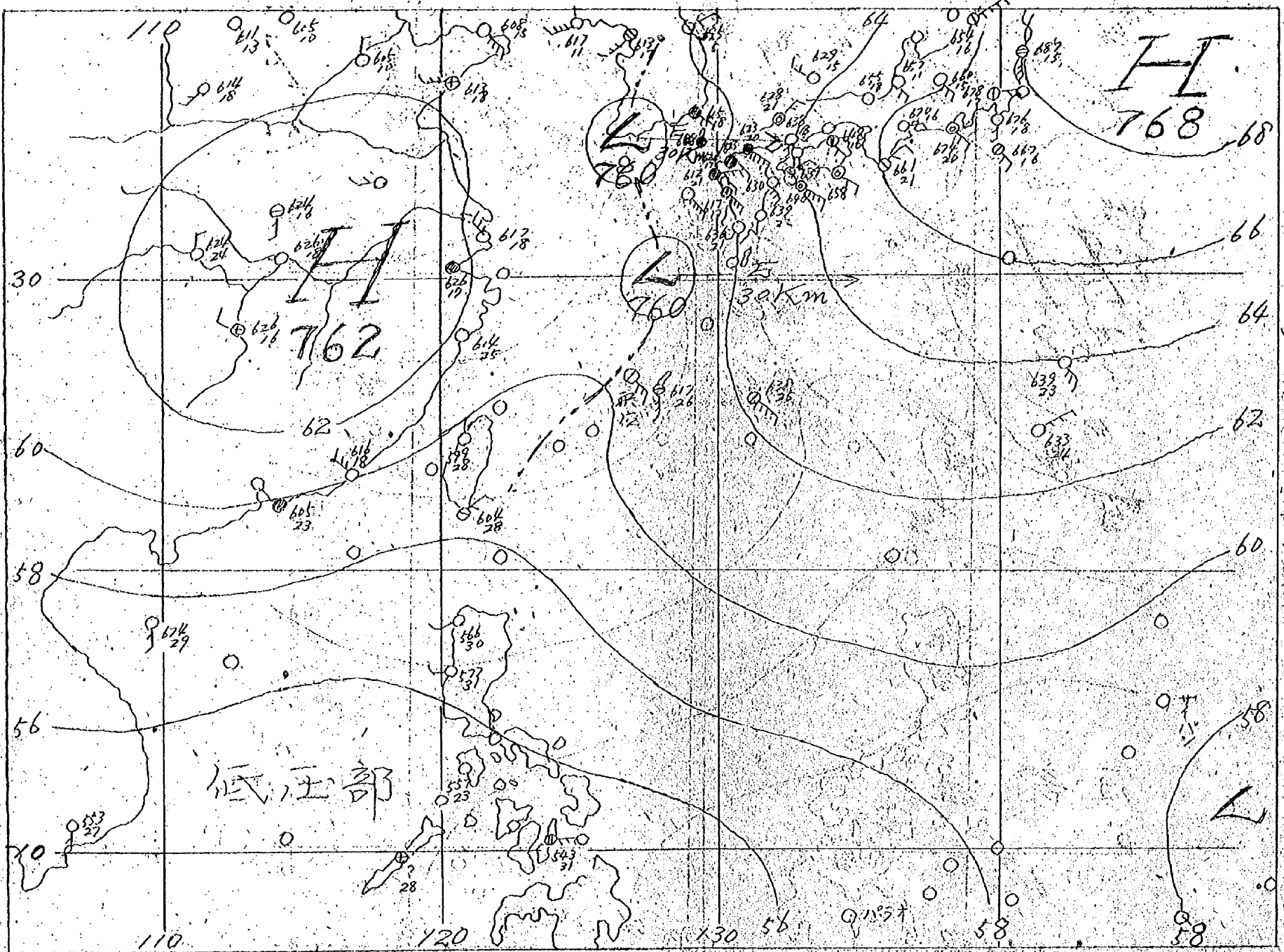


昭和十九年十月二十六日 六時



昭和十九年十月二十六日十四時

低圧部 56
756



昭和十九年十月二十六日十八時